

平成31年度（2019年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	公民	科目（単位数）	倫理（2）	学年	3	類型	文Ⅱ・理系
学習目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成、人間としての在り方生き方などについて考えさせる。また、人格形成に努める実践力や主体としての自己を確立させ、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	○ 現代に生きる自己の課題 1 人間とは何か 2 青年期の意義 3 自我の発見と自己形成 4 人格の形成と生きがい ○ 人間としての自覚 1 古代ギリシアの思想 2 キリスト教	<ul style="list-style-type: none"> ・何をもって人間というのかを考えることができる。 ・青年が負っている課題について考えることができる。 ・ソクラテス・プラトン・アリストテレスなどの思想家が求めた人間観、国家観、倫理観について理解できる。 ・宗教が人間に対して持つ意味について考察するとともに、自分なりの意見を表明できるようになる。 ・ユダヤ教の歴史と特徴、イエスの教えを理解するとともに、イエスの活動の意味を考察することができる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	3 イスラーム 4 古代インドの思想と仏教 5 中国の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・現代イスラームの実情について関心を持ち、それについて調べることができる。 ・ウパニシャッド哲学の教義やブッダの思想について理解できる。 ・中国の思想に関心を持ち、諸子百家出現の背景や儒家の思想、荘思想が理解できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	○ 西洋近代の思想 1 理性への信頼と人間の尊厳 2 自然・科学技術と人間 3 個人・社会と自由 4 民主社会の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスと宗教改革の意義を理解できる。 ・デカルト・ベーコンの思想の理解を通して、科学的思考の意味について考えることができる。 ・社会契約説の思想家、カント、ヘーゲルの思想の理解を通して、自由、法と道徳とは何かを考える。 ・ベンサム、ミル、プラグマティズムの思想家の思想を学び、幸福の問題や民主主義、教育について考える。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	○ 現代の思想 1 現代思想の流れ 2 現代社会と生き方 ○ 日本の伝統思想と東洋思想 1 日本の風土と古代日本人 2 仏教の受容と展開 3 儒学の需要と国学の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・キルケゴールやニーチェ、サルトルなどの実存主義者の思想を理解し、主体的に生きることの意味について考える。 ・構造主義やフランクフルト学派などの理解を通して、野蛮と文明、理性と非理性について考える。 ・日本の風土、神代神話、古代日本人の考え方について考察できる。 ・日本の仏教の受容とそれぞれの時代における仏教の役割について理解する。 ・儒学の受容とそれぞれの学派の主張を理解できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	○ 西洋思想と近現代の日本思想 1 近代の日本思想 2 国際社会を生きる日本人	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米化された現代日本社会を振り返り、明治以降の日本の歩みに関心を抱くことができる。 ・啓蒙思想、キリスト教思想、伝統思想、近代文学、大正デモクラシーについて理解し、その思想的特徴を考察できる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「倫理」（数研出版） 資料集：「最新図説 倫理」（浜島書店） 問題集：「スタディノート 倫理」（数研出版）						
学習方法	○ 教科書をしっかり読み、整理ノートに重要事項を書き込む。 ○ 先人の思想に関心を持ち、自分の生き方について考える。						
評価方法	○ 定期考査 ○ 提出物 ○ 授業態度（出欠状況を含む）						